

平成三十一年一月(12月定例議会報告)

# 栄町見聞録

第179号



見る 聞く 話す

執筆発行 栄町議会議員

野田 泰博 (立憲民主党)

栄町安食台1丁目8番7号

メール yasnodat8760@gmail.com

tel 0476-95-3665



## 私を取り巻く政治環境 7期目を迎えて私の周囲は何か変わり、何が変えられなかったか

### 27年前議員になった

平成4年4月申年にサラリーマンのまま町議になった。申年だったので見ざる言わざる聞かざるを逆にして「よく見て聞いて、皆で話そう」をキャッチコピーとした。多くの方から「サラリーマンでも議員はできるの」と質問を受けた。サラリーマン41年間のうち議会議員を兼任したのは22年間。

### サラリーマンでも議員をすべきなのか

当時、栄町は9千人の町が団地を作り一気に倍の人口になった。サラリーマンが新団地に家を求めたからだ。サラリーマンでも町の将来を決める場に出なくてはいけないという単純な動機であった。議員になった理由

「素人に何が分かる!」と罵倒されたことがきっかけになった。素人に分かるように説明するのが議員の役目。私は仕事で欧州、米国、カナダ、ブラジルに出かけていた。私の

### のところに来て、「野田くん、いい質問だった」と言い、それから一ヶ月後3万の町づくり

に改めた。珍しがられたサラリーマン議員

私のことを共同通信、日本経済新聞、朝日新聞、NHKテレビなどで紹介された。また雑誌などでも報道。栄町議会でもサラリーマンができる夜間議会を試験的に開始した。先進的な取り組みだったが、結局、夜間

議会は傍聴者が少なく、取りやめになった。今議員のなり手がなく、仕事と兼任をさせようとの動きが始まった。各議会が兼業に向けて思案している。地方議会が抱える大きな問題点

### 私が議会議員になり何故サラリーマンが続けられたのか?

まず言えることは町民と自分の会社の両方から信頼される必要不可欠。営業部長であった私が議員を兼任したいと社長に申し出た時、社長(スイス人)は言った。「そうだ

日本人は自分の町の仕事を自分でやるといふ気概が少ない。ただMR野田が営業成績を落としたり直ぐにクビにする」というのが条件だった。お付き合いしていた日本の会社の方々

も皆快く私の決意に協力してくれて、おかげで議員とサラリーマンを兼任できた。会社の社長、部下や周囲の人々、町民の理解など多くの理解に支えられたから続けられたと思っている。

### のだと今では信じている。最初に出ると

きも自治会の仲間たちを手伝って出てきた。強い人が手伝ってくれた。当時はまだ携帯電話がなかったが、友人がシオルダーフォンを貸してくれた。私のチラシを率先して配布してくれた。皆に支えられた議員生活であった。自分が決断すれば必ずその意思に叶うような助っ人が出てくると信じている。これからは「栄町は俺に任せろ」という若い人が出て欲しい。

議員は町民の意見を汲み上げてそれを町長の町づくりの組み込みでいく仕事。自分の見識、意見が一番大切だが、町長や執行部に理解してもらおうことも大切。町民、町長、役員

職員のコミュニケーションをとりつつも町民の意見を自分の意見として汲み上げられる方が出て欲しい。町長も議員も役目は全く同じなのだ。「町民の意見を聞き上げ、それを町の行政に反映させること」は一緒。ただひとつ違うことは、町長は県と国の方針を意識し、どのように県の方針を町民に合わせるかが仕事。栄町に合うまで吟味する必要が

## どうしても腑に落ちない原発難民受け入れ政策 (12月定例議会一般質問・町の回答)

### 町の回答でも千葉県議会での県民対策についての考えがまるでなかったので栄町の県議に回答を求めた

東海第2原発事故の放射能被害者避難茨城県民受入について(原文)

前略 いつも「いわちゃんポスト・岩井やすのり県政かわら版」で情報をお届けいただきありがとうございます。11月18日に行われた小生の議会報告会に栄町民、栄町周辺地域の96名の方が参加し、「東海第2原発が再稼働、20年延長されて福島原発に匹敵する事故が起きた場合、茨城県境に接する栄町民はどこに逃げるのか」、「80%しか離れていない利根川沿いの地域は福島原発事故と同じような事故の場合、受入れよりもどこかへ逃げ出す必要が出てくるのではないかな」とい質問が寄せられました。この件で千葉県議会ではどのように県執行部から説明があり、議論したのか、また栄町在住の岩井県議はどのような考えを示されたかお知らせください。東海第2原発再稼働・20年延長の件に関して私は9月定例議会に住民請願を出しましたが、そんな請願は失礼な請願だ、請願先が間違っていると否決され、12月定例議会にて一般質問として町の執行部に質問をしました。

私たちが知り得る範囲では、東海第2原発で事故が起きた場合、茨城県民約30万人のうち約3分の1の96万人が現場所から他所に避難を余儀なくされる事態となり、千葉県では54市町で受入れが決まり、栄町ではひたちなか市の避難民約千人を、安食小、安食台小、県立栄特別支援学校(旧栄東中)、旧北辺田小、旧酒直小の5体育館で受入れすることです。これは日常の町民の社会生活、県立特別支援学校に各地域から来られる生徒たちにも大きな影響が生じるということを意味します。栄町は避難場所のみ提供し、全てはひたちなか市の職員が担当しますという取り決めですが、避難先の体育館は避難民がいれば体育館は使用できませんし、近隣の日常生活や小生には影響は必ず出てきます。7年前の福島原発事故の際、2000名離れた柏市なども土壌汚染がひどく5万ベクレルのセシウムが検出されました。栄町でも小・中学生は校庭使用を禁じられました。千葉県北部の地域一帯は福島第一原発よりも100%も近くなり、栄町を含む千葉県北部一帯は福島原発事故の時よりもっと汚染される可能性があります。7年経った今でも千葉県各市町には福島原発事故の放射能による汚染残土が処理されずに残っています。東海第2原発再稼働、20年延長は栄町民のみ

ならず、近隣市町の住民は困惑している人もいます。県議選を控えお忙しいところ恐縮ですが、2019年1月20日頃までにご返答をお願いいたします。草々

・この手紙は未開封で返送された。

・未開封返送の意味がわからないので、メールにて岩井県議に送付。

岩井県議からの返信メールが届いた

本日（12月22日）付で、東海第2原発の再稼働に関連する自身の考えについてのご質問をいただきました。原発問題については同様の懸念を抱くところですが、ご質問を下された野田さんが所属する立憲民主党とは来たる千葉県議会議員選挙にて競合関係にあることから、恐縮ながら回答を辞退させていただきます。よろしくお願いいたします。どうぞご理解くださいますようお願い申し上げます。千葉県議会議員 岩井泰憲

私の感想と次の行動

岩井県議は、民主党から出馬し、当選後民主党を辞め無所属になった。その時、民主党では町民への仕事はできないので無所属になったと説明していた。今度は次の選挙で立憲民主党とは競合になるので、町民の質問でも答えられないとのこと。町民が知りたかったことは、千葉県議会がこの茨城県民受入にどのように議論していたのかという点。栄町在住の県議が、立憲民主党経由の質問には競合関係だから答えられないというので、立憲民主党の河野県議と網中県議にお聞きした。即、千葉県の担当職員を紹介して

いただき概要は分りました。（次回掲載） 栄町と県が関連するので栄町の県議にお聞きした。「栄町民の質問は栄町出身の県議に伝えるべき」という筋は通したが、岩井県議の空虚な回答は残念であった。選挙で競合する相手には答えられない姿勢。無所属議員だからこそ、誰にでもオープンになれるのではないかと。今回当選したら無所属から自民党員になるという噂が本当なら、「こんな質問ごめんね」と言わざるを得ない。

原発 神話崩壊、廃炉

原発は昭和の高度経済成長の推進力だった。今、原発は、何をすることも莫大（ばくだい）な費用がかかる負の遺産となっている。「クリーン、安価、安全」神話は東日本大震災で崩壊。「神話」は地震という自然の力で粉砕された。

昭和五十七年に茨城県東海村の実験炉、十年後には福島第一原発の建設が始まり。日本は世界唯一の被爆国だが、原子力利用で五十四基の原子炉を有する世界三位の原発大国になった。福島第一原発事故が崩壊させたのは安全神話だけでなく、経済神話も合わせて粉々に粉砕。事故処理に21兆円もかかることになった。しかもそのつげは国民負担となった。原発から出る高レベル放射性廃棄物の処理方法も見つからず。十

万年に及ぶ厳重管理の受け入れ先も見つからず、現在23基が廃炉を決定もしくは検討中。これからの政策は原発廃炉時代に入りまます。長い廃炉の時代と莫大な費用をかける必要に迫られるでしょう。全てのつげは国民に回るので。

経団連の中西宏章会長（日立製作所会長）は新年に政府の原発政策にノーを突きつけた。しかし数日後再稼働はOKと変更した。経団連は政府と二人三脚で政府の要望を経済的に側面支持してきた日本経済のエンジン部分。そこすらもフラフラしている。日立製作所は三菱重工、東芝の三社は政府が進める原発輸出中核をなす会社。その筆頭の日立製作所が「国民が反対するものは作れない」と発表。日立の英国への原発輸出のトルコやベトナムでも行き詰

まり、このままでは、経産省の政策に乗った原発輸出は東芝のように大損失を被った東芝の二の舞になることを懸念しているが、未だフラフラしている。

ドイツも「脱原発」。世界第二の原発大国フランスも、原発依存度を減らすため、二〇年までに陸上風力発電を三倍、太陽光発電を五倍に拡大、洋上風力の増設も具体化が進んでいる。高速炉計画は凍結。

（余談）この二月福島原発爆発の数日間を題材にした映画「太陽の蓋」プロデューサーの橋本義氏がフランスの映画祭に招待されたとのこと。これは国会議事録をそのまま忠実に菅直人元首相（三田村邦彦）を中心に映画化したもの。（本当は二月にふれプラでも上映したかったが、残念ながら橋本氏と菅氏は二月はフランスで講演するのでできなくなりました。）

2015年のパリ協定からすると、原発は二酸化炭素を出さないクリーンなエネルギー。それをテコにして温暖化対策だから小型原発の開発に向かうという日本は異常の極み。原発は放射能汚染問題がある。日本は世界で唯一の原子爆

弾被爆国、第5福竜丸事件、福島原発事故と放射能の恐ろしさは何度も体験してきた。原発にしがみつく現政権の異常さ、放射能汚染を忘れた自民党政の電力が余っているながら原発優先の電力政策。今こそ一般大衆の常識が必要となっている。

（参考）

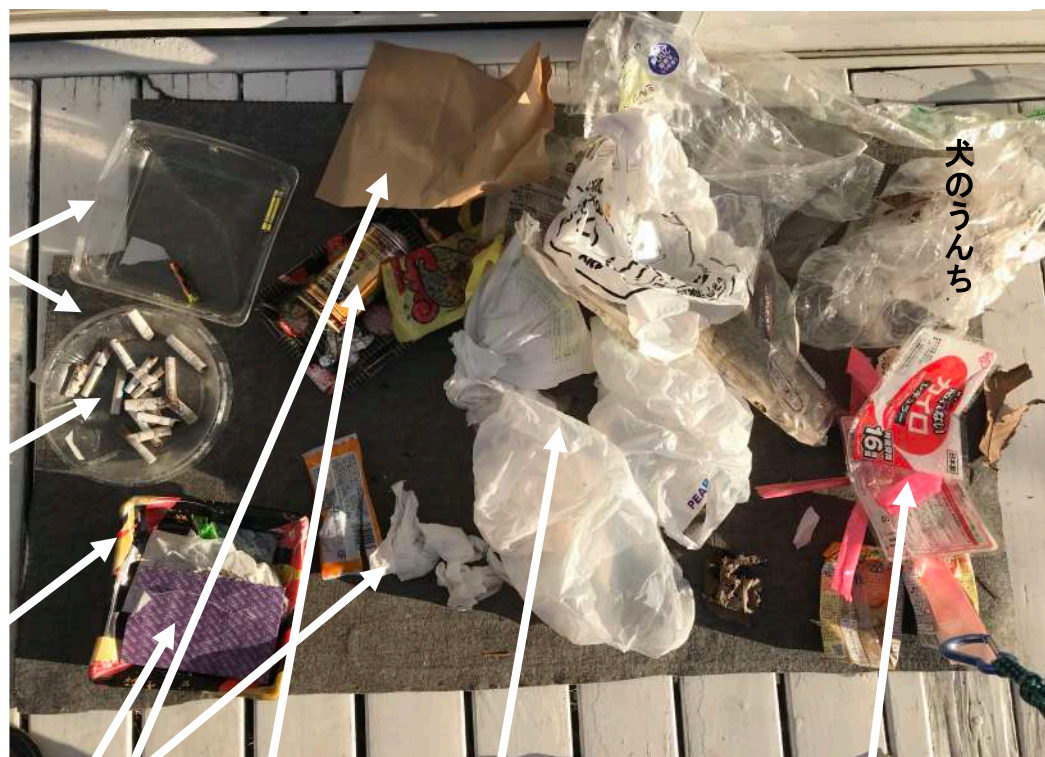
各原発の使用済み核燃料は総計1万7千トン。使用済み核燃料は原油換算で約15兆円の価値。使用済み核燃料も資産として計上。（日本原燃川井吉彦社長談） プルトニウム保有47トン。原爆6千発分。（NHKクローズアップ現代）

（報告）2018年の我が家（3人家族）の年間ごみ排出量（統計3年目）:

燃やすごみ・黄 28袋、重量 185.21kg、資源袋・緑 23袋、重量 31.42kg、燃えないゴミ・赤 2袋、重量 13.6kg

2018年 一人当たり/日 燃やすごみ 169.1g（栄町の目標 500g の3分の1）、資源袋 28.7g、燃えないゴミ 12.4g

2018. 12. 31 の栄町庁舎横緑道 300mにあるゴミの種類 250g



人の出すゴミが地球と人類を破壊する、我々の血液の中にも入ってくるマイクロプラ。 安食駅から役場への緑道にゴミが散乱している時がある。大型犬の大量の糞が道の端にどっさりある。そして左写真のような人の捨てるゴミや缶もある。タバコの吸い殻は無数。一番気になるのがプラスチックゴミだ。今や海に流れ出たプラスチックゴミが分解し、魚が食し、海洋生物の胃袋・血液の中にはプラスチックが分解したマイクロプラがな生物はいないとのこと。それを人間が、特に日本の我々が刺身として食している。昆虫の身体の中にもマイクロプラが入っているとナショナルジオグラフィック誌にも記載があった。我々の身体も内部からマイクロプラスチックに汚染されている可能性が高い。ゴミのポイ捨てを止めましょう。

透明プラスチック タバコの吸い殻 発砲スチロール

紙ゴミ各種 缶 プラ買い物袋（中身不明） 商品包装プラ